

お買い上げありがとうございます。ご使用前に必ずお読みください。
取付工事には電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店へご依頼ください。
この説明書は取付工事が終わりましたら器具をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

営業本部/東京都品川区西五反田1-13-5 : 03-3492-4460

札幌営業所 : 011-824-5051

仙台営業所 : 022-283-3401

名古屋営業所 : 052-322-2861

大阪営業所 : 06-6338-1081

福岡営業所 : 092-471-8075

安全上の注意

警告

- 取付工事やLEDモジュール交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。段調光アダプタ、直流電源装置の故障、感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
- 段調光アダプタの分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 電線を接続する場合、ゆるみ、抜けのないように確実に接続してください。接続が不完全ですと、漏電、地絡、感電、接続部の焼損、火災の原因となります。
- 段調光アダプタは、必ず適合するLEDモジュール、指定の直流電源装置と組合せて使用してください。LEDモジュールの破損や、短寿命、あるいは過電流による火災及び段調光アダプタや直流電源装置の短寿命の原因となります。
(適合直流電源装置 : ELD2416P、ELD2430P、ELD24150H)
- 段調光アダプタの出力側をLEDモジュールに接続しないままで放置しないでください。施工途中でやむを得ず出力側にLEDモジュールを接続しない場合、切断した電線を1本1本に分けて確実に絶縁処理をしてください。一括して絶縁処理をすると電線切断面から放電が起こり、電線が焼損し火災の原因となります。
- 出力配線に中間ジョイントとして、指定のないコンセント等を使用しないでください。接続不良、定格間違いにより火災の原因となります。
- 紙や布などを段調光アダプタの上に置いたり、かぶせたりしないでください。段調光アダプタの温度が高くなり、紙や布が焦げて火災の原因となります。
- 段調光設定スイッチを設定するとき以外は、段調光アダプタの隙間に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。スイッチを操作する場合は必ず接続された直流電源装置の電源を切ってから操作してください。故障、感電、火災の原因となります。
- 段調光設定スイッチを設定した後は、必ず付属の目隠しシールを使い、穴をふさいでください。故障、感電、火災の原因となります。
- 電線、あるいは絶縁処理部に刃物などによるキズをつけないでください。キズがついた状態を使用すると、絶縁破壊により漏電、感電、火災の原因となります。
- 段調光アダプタには指定電力(W)を超えるLEDモジュールは接続しないでください。過電流による火災及び段調光アダプタの短寿命の原因となります。

注意

- 露の付着や水分を避けてください。絶縁低下、漏電、感電、短寿命の原因となることがあります。
- DC電源入力には、DC24V±5%以内で使用してください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキ、段調光アダプタの故障、火災の原因となります。
- 長期間使用しない場合は、部屋の湿気により絶縁が悪くなることがありますので、部屋の換気をおこなうか定期的に通電してください。絶縁が悪くなりますと漏電、感電の原因となることがあります。
- 電源電圧は、定格入力電圧の範囲で使用してください。LED器具(LEDモジュール)の短寿命、不点灯、チラツキ、直流電源装置の故障、火災の原因となることがあります。
- 緑線は、段調光アダプタに表示してある接続図どおりにおこなってください。間違えて接続すると不点灯、段調光アダプタや直流電源装置の焼損の原因となることがあります。
- 誤って落下させた段調光アダプタは使用しないでください。故障の原因となるばかりでなく発煙、発火の原因となることがあります。
- 屋外では使用しないでください。絶縁低下、漏電、感電、短寿命の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)では使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは、使用しないでください。発煙、発火の原因となることがあります。
- 腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、水や薬品がかからないよう注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。
- 段調光アダプタの出力側リード線と入力側リード線への接続には、延長コードDKLを使用してください。漏電、感電、地絡の原因となることがあります。
- 造営材に取り付ける場合は、造営材から10mm以上離して取り付けてください。発煙、発火の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 電線を段調光アダプタの端部に触れないよう余裕をもたせてください。ケースの端面で絶縁被覆を傷つけ、絶縁破壊により漏電、感電の原因となることがあります。
- 電線の接続点や段調光アダプタの口出線には張力を加えないでください。不点灯、漏電、感電、火災の原因となることがあります。
- 口出線を持って段調光アダプタを運搬しないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良による発熱により、不点灯、漏電、感電、火災の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯後しばらくは、段調光アダプタが熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- その他、工事上の制約がありますので、段調光アダプタの取付けに際しては「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。
- 標準使用条件で8~10年経過した段調光アダプタは、絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用すると絶縁劣化が進行し、異常過熱、発煙、発火の原因となることがあります。段調光アダプタの交換をおすすめします。

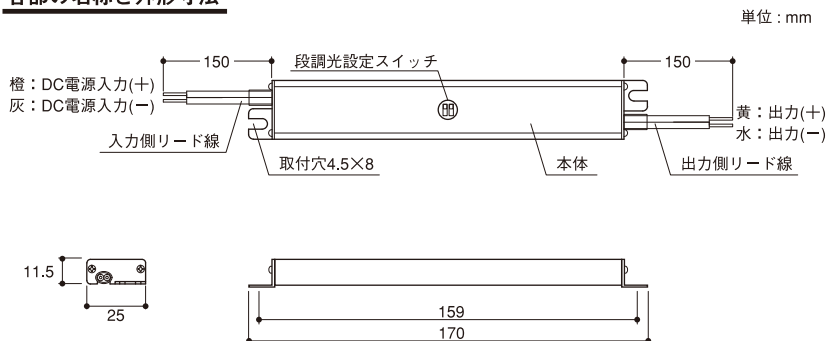
ご使用上の注意

- 周囲温度は5℃~35℃の範囲で使用してください。周囲温度が高い場合や他の熱源から影響を受ける場合などには、段調光アダプタが短寿命となったり、内蔵している保護機能が動作したりします。また、次の事項を守ってください。
①2台以上並べて設置する場合には、相互の熱の影響を受けますので50mm以上間隔を空けて通風に注意してください。
②箱の中に収納する場合は、容積を十分大きくとり、かつ換気をして段調光アダプタが過熱しないように注意してください。
③光源の上部などに取り付ける場合は、光源の熱影響を受けますので熱遮蔽の仕切りをすとも十分に間隔をとってください。
④狭く周囲に空気の対流がなく熱がこもりやすい場所では、強制換気などをおこなって段調光アダプタが過熱しないように注意してください。
⑤周囲温度が低い場合、正常動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 直流電源装置とLEDモジュールとの間の配線の長さは、カタログまたは取扱説明書にしたがってください。特性が変化したり、異常過熱の原因となることがあります。
- 二次側配線を間違えて接続した場合、直流電源装置の故障、不点灯の原因となることがあります。
- 施工方法、使用方法によっては、電波障害が生じることがありますので次の事項を守ってください。
①段調光アダプタの配線と通信ケーブルなどは、近接しないように施工してください。
②段調光アダプタおよびその配線と電子機器とをあまり近づけないようにしてください。
③段調光アダプタを使用したLEDモジュールに接近してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。また、赤外線リモコン機器や盗難防止センサーを近接して使用すると機器が正常に動作しない場合があります。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じたり、段調光アダプタに若干のうなり(音)を生じる場合があります。
- 調光器との併用はできません。
- 段調光アダプタを使用する場合は、音を発生する場合があります。学校、図書館、病院、事務室など静かさの要求される場所、体育館、講堂など多数の段調光アダプタを取り付ける場合は、騒音に配慮して施工してください。
- 漏電遮断器の種類によって段調光アダプタからの高周波の漏れ電流の影響により漏電遮断器が動作する場合があります。この場合には高周波対応型漏電遮断器を使用してください。
- 通電したままLEDモジュールを脱着しないでください。段調光アダプタ、LEDモジュール故障の原因となることがあります。

保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置、ランプ、モジュール含む)には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1 解説による)
※LED光源は寿命がきても、暗くも暗くも点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社ホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

各部の名称と外形寸法



付属品 : シリコン目隠しシール1枚

定格

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

DC電源入力	DC24V±5% 6.25A まで
出力	DC24V 6.25A まで
調光レベル	60%、30%、10%
質量	0.06kg
使用環境	5~35℃ 20~80%RH ※結露なきこと

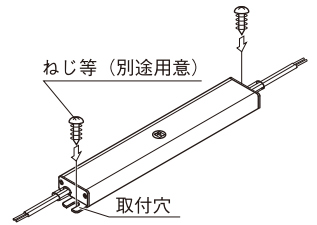
機能

本製品は「適合する直流電源装置」と「LEDモジュール」の「間に設置」することで、60%、30%、10%の明るさ(段調光)にすることができます。
※適合LEDモジュールは、必ず取扱説明書に記載した条件(LEDモジュール入力電力の合計、配線長、等)で使用してください。本製品は日常的に行う調光を目的としたものではありません。頻繁に調光を行う場合は、調光用直流電源装置+PWM調光ドライバPDD150-24を使用してください。

取付方法

1.取り付け

- ・取付ねじ（別途用意）等で取付穴を利用して確実に固定してください。
- ・直流電源装置、LEDモジュールの取り付けは、各製品の取扱説明書にしたがってください。



2.結線

【注意】+、-の極性と入力側・出力側は間違えないように接続してください。間違えて結線した場合、段調光アダプタ・直流電源装置・LEDモジュールが故障します。

直流電源装置 ELD2416P または ELD2430P と LED モジュールへの結線

①延長コード DKL (別売) の切断

オス側コネクタ (出力側に使用)

メス側コネクタ 110mm以下 (入力側に使用)

・直流電源装置および適合 LED モジュールのコネクタへ接続するため、別売の延長コード DKL の電線をメス側コネクタから 110mm 以下 (段調光アダプタと直流電源装置間の配線長 410mm 以下にするため) で切断してください。

②入力側の結線

- ・SDA150 の入力側リード線と切断した延長コード DKL のメス側コネクタの電線を圧着接続してください。(極性に注意！ SDA150: 橙 (+)/ 灰 (-)、DKL: 白 (+)/ 白・灰 (-))
- ・コネクタを直流電源装置のコネクタへ接続してください。

配線長410mm以下

110mm以下に電線を切断した延長コードDKLのメス側コネクタ

③出力側の結線

絶縁被覆付 開端接続子など 電線を切断した延長コードDKLのオス側コネクタ

適合LEDモジュール

1系統の総配線長

- ・SDA150 の出力側リード線と切断した延長コード DKL のオス側コネクタの電線を圧着接続してください。(極性に注意！ SDA150: 黄 (+)/ 水色 (-)、DKL: 白 (+)/ 白・灰 (-))
- ・コネクタを LED モジュールのコネクタへ接続してください。

直流電源装置 ELD24150H と LED モジュールへの結線

①入力側の結線

- ・SDA150 の入力側リード線と直流電源装置の出力側リード線を延長せずに圧着接続してください。(極性に注意！ SDA150: 橙 (+)/ 灰 (-)、ELD24150H: 白 (+)/ 黒 (-))

②延長コード DKL (別売) の切断

オス側コネクタ (出力側に使用)

メス側コネクタ (使用しません)

・適合 LED モジュールのコネクタへ接続するため、別売の延長コード DKL のメス側コネクタを切断してください。

③出力側の結線

絶縁被覆付開端接続子など 電線を切断した延長コードDKLのオス側コネクタ

直列配線LEDモジュール長合計形式長さ

適合LEDモジュール

1系統の総配線長

- ・SDA150 の出力側リード線と切断した延長コード DKL のオス側コネクタの電線を圧着接続してください。(極性に注意！ SDA150: 黄 (+)/ 水色 (-)、DKL: 白 (+)/ 白・灰 (-))
- ・コネクタを LED モジュールのコネクタへ接続してください。

■LED モジュール (仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

適合LEDモジュール (別売) ※1	全長 (mm)	LEDモジュール入力電力 (W)	直流電源装置 (別売) およびLEDモジュール入力電力の最大使用W数			1系統の総配線長	延長コード (別売) ※4
			ELD2416P 入力電圧/VA: AC100V/31VA 周波数: 50/60Hz	ELD2430P 入力電圧/VA: AC100V/60VA 周波数: 50/60Hz	ELD24150H 入力電圧/VA: AC100V ~242V/180VA 周波数: 50/60Hz		
FX-LED2-500A□□	510	5.0	○	○	○	6mまで	DKL200 DKL300 DKL400 DKL500 DKL1000 DKL2000 DKL3000
FX-LED2-1000A□□	1010	10.0	○	○	○		
FX-LED2-1500A□□	1510	15.0	○	○	○		
FX-LED2-2000A□□	2010	19.5	○	○	○		
FX-LED2-2500A□□	2510	24.0	○	○	○		
FXS-LED500A□□	530	5.5	○	○	○		
FXS-LED1000A□□	1030	11.0	○	○	○		
FXS-LED1500A□□	1530	16.0	○	○	○		
FXS-LED2000A□□	2030	21.0	○	○	○		
FXS-LED2500A□□	2530	25.5	○	○	○		
FL-LED2-352□□	352	6.0	○	○	○	5mまで	DKL2000 DKL3000
FL-LED2-535□□	535	9.5	○	○	○		
FL-LED2-611□□	611	10.5	○	○	○		
FL-LED2-789□□	789	13.0	○	○	○		
FL-LED2-853□□	853	14.0	○	○	○		
FL-LED2-1045□□	1045	17.5	○	○	○		
FL-LED2-1116□□	1116	18.5	○	○	○		
FL-LED2-1348□□	1348	21.4	○	○	○		
FL-LED2-1424□□	1424	22.0	○	○	○		
FL-LED2-1602□□	1602	24.0	○	○	○		

- ※1 LEDモジュールの形式の□□は色記号、仕様の詳細は各取扱説明書をご覧ください。
- ※2 周囲温度5℃~40℃の範囲で使用してください。ただし、直流電源装置を天井裏など40℃近傍で使用する場合は()内の電力(W)で使用してください。
- ※3 最大使用W数は当社LEDモジュールと組合せたときの値です。調光ドライバSDA150 1台(セット)あたりのLEDモジュール使用可能灯数はLEDモジュール入力電力の合計105W (90W) 以内とさせていただきます。
- ※4 末尾数値はmm単位で電線の長さを表します。

3.電源の供給および調光設定

- ・全ての作業が完了したら電源を入れ、LEDモジュールが点灯・調光することを確認してください。
- ・段調光設定スイッチを細いマイナスドライバー等(別途用意)を使用して希望の明るさに設定し、付属のスイッチ目隠しシールで保護してください。
- 【注意】電源を投入しても点灯までに1から3秒かかることがあります。
- 【注意】通電した状態でLEDモジュールを脱着しないでください。LEDモジュール故障の原因となります。
- 【注意】段調光設定スイッチの調光レベルを設定する際は、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。

段調光設定スイッチの調光レベルの設定

明るさ60% (出荷時)

明るさ30%

明るさ10%

スイッチ目隠しシール